

新聞圖會

第十八号



神戶の采所六丁目仲仕長富岡七郎は子方敷多便りるに同采所  
通南仲組の帳場頭坂本此三吉と親兄同意成り仲組帳場ト  
合衆で一の此三吉前為定價減少の儀申出すと此七郎  
子方等江面目難故妻子ヲ離別一五月廿二刀を懐  
此三吉方之越前不談雖及下其後固く不聞入を範七  
郎是非多しと云ふ早々切付は此三吉大狼狽し裏口  
逃出た爲再と肩先切付られ下異入館へ逃入し故範七  
郎是迄下思と刀取直し柄を狂切先ヲ我腹に  
當テカに任やせ押し多に柱に刺れりて  
五分餘り突込一間の大勢  
駈附終り自盡す一得  
さふよー神港新聞  
夢武拾八蹄と祥が利

濁流  
泥の  
しる

雷赤  
しる

ありは

